

# 令和に続く古代文学の世界

2つの講演会

講演Ⅰ

## 古代文学の表現—万葉集、風土記の植物記事を中心に—

講師 兼岡理恵 先生 千葉大学大学院人文科学研究院准教授



新元号「令和」の出典となった万葉集巻5「梅花宴」序をはじめ、万葉集には様々な植物が詠まれている。一方、最古の地誌である風土記には、各地の植生に関する記事をはじめ、地名起原説話の中にも植物が登場する。それらに触れることで、古代文学の表現、古代の人々の自然観などをひもといていく。



マコエ (イネ科)



エヤミグサ (リンドウ)



らに (シュラン)



サキクサ (イカリソウ)



ハネズ (ニワウメ)



はなかつみ (ハナジョウブ)



つきさき (つゆ草)



花かつみ (ヒメヤガ)



わすれ草 (ヤブカンゾウ)



オキナグサ

講演Ⅱ

## 古事記のフローラ—神話の中の植物たち—

講師 松本孝芳 先生 京都大学名誉教授



古事記(712年成立)に現れる植物を現在の植物名と対応させながら、古事記の物語に沿って述べていく。これらの植物の多くは、ごく身近に山野で見かけることのできるものばかりであり、人々はこれらの植物を日常的に利用、観察しながら生活してきたのであろう。



ノアザミ



ウミズザクラ (果実)



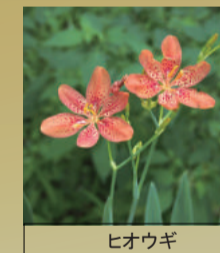
ウミズザクラ (花)



クズ



イチイ



ヒオウギ



ガマ

プロフィール  
松本孝芳先生

1942年埼玉県生まれ。千葉大学工学部卒業後、京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻修了。京都大学工学部助教授、同大学院農学研究科教授を経て、2006年京都大学名誉教授。工学博士

プロフィール  
兼岡理恵先生

1975年千葉県生まれ。東京大学文学部卒業後、同大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。東京経済大学経済学部専任講師、千葉大学文学部准教授などを経て、現職。博士(文学 東京大学)

日時

2019. 9/26 (木) 13:30~16:30 (開場 13:00)

会場

マルチメディア会議室 千葉大学人文社会科学系統 研究棟2階

定員

90名先着順。締切り 9/15(日)



◆参加ご希望の方はメールでお申込み下さい。 Eメール: [chibadaikayaki@gmail.com](mailto:chibadaikayaki@gmail.com)

けやき倶楽部ホームページ: [chibadaikayaki.com/](http://chibadaikayaki.com/) (けやき倶楽部)

